

ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等一覧（産業部会）

所 属	役 職	氏 名	令和7年度の3Rに向けた活動状況	令和8年度の3Rに向けた活動目標
山形県環境保全協議会	会 長	千 歳 毅	<p>1 コピー用紙、封筒使用枚数の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員へのイベント案内等はメールなどを活用し、コピー用紙の削減に努めました。 ・ オンライン会議を開催した際は、資料はPDFで配布し、コピー用紙の削減に努めました。 ・ 会員への郵送での案内は、なるべくまとめて発送し、封筒使用枚数の削減に努めました。 <p>2 「美しいやまがたの海」クリーンアップ運動 最上川河口右岸会場への協力 美しいやまがたの海プラットフォーム（事務局 庄内総合支庁環境課）主催のクリーンアップ活動に参加協力しました。 日時：令和7年7月12日（土） 会場：最上川河口右岸（酒田市） 人数：162名（内会員企業73名）</p> <p>3 「企業等交流会」開催 企業等交流会（懇親会）において、30・10運動を実施しました。 日時：令和7年6月3日（火）17時00分～19時00分 会場：ホテルメトロポリタン山形4階「霞城B」 人数：64名</p> <p>（詳細は参考資料1-1のとおり。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コピー用紙、封筒使用枚数の削減 ・ 「クリーンアップ運動」への協力（調整中） ・ 総会後に開催される「企業等交流会（懇親会）」で30・10運動を実施する。

所 属	役 職	氏 名	令和7年度の3Rに向けた活動状況	令和8年度の3Rに向けた活動目標
一般社団法人 山形県産業資源循環協会	会 長	鈴木 隆	<ol style="list-style-type: none"> 1 第3次山形県循環型社会形成推進計画やカーボンニュートラルへの取組みを推進すべく、リサイクル率向上などに向けた県の3R研究開発事業費補助制度や循環型産業施設整備事業費補助制度の活用を周知した。 2 県に2人配置されている3R推進環境コーディネーターについて、政府や県の多様な補助金制度などを活用する相談役として、当業界企業への訪問機会を増やすよう努めた。 3 「やまがた環境展」へ参画し、産業廃棄物に関する県民の理解を深めるため、ワークショップ等の体験型企画の実施及びEVトラックの展示等を行い、循環型社会の形成や脱炭素への取組みを発信・啓発し環境に対する理解を深めた。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 引き続き、第3次山形県循環型社会形成推進計画やカーボンニュートラルへの取組みを推進すべく、リサイクル率向上などに向けた県の補助制度の活用を周知する。 2 県の3R推進環境コーディネーターについて、政府や県の多様な補助金制度などを活用するワンストップ相談役として、また、循環経済実現に向けた動・静脈産業連携促進のため、当業界企業への訪問機会を増やすよう努める。 3 「やまがた環境展」へ参画し、産業廃棄物に関する県民の理解を深めるため、会場ブースにワークショップ等の体験型企画を実施し、循環型社会の形成や脱炭素への取組みを発信・啓発する。
山形県電機商業組合	副理事長	朝倉 聖一	<ol style="list-style-type: none"> 1 家電リサイクル法の推進 2 地域電器店でレジ袋の使用を控える 3 SDGsの推進 4 新聞紙・段ボール・ペットボトル等は資源回収に出す 5 会議案内等はメールで送る 	<ol style="list-style-type: none"> 1 家電リサイクル法の推進 2 地域電器店でレジ袋の使用を控える 3 SDGsの推進 4 新聞紙・段ボール・ペットボトル等は資源回収に出す 5 会議案内等はメールで送る

所 属	役 職	氏 名	令和7年度の3Rに向けた活動状況	令和8年度の3Rに向けた活動目標
公益社団法人 日本青年会議所東北地区 山形ブロック協議会	会 長	安達 史倫	① 懇親会の際には、閉会10分前には席についての食事の時間を設ける等、食品ロス削減に努めた。 ② 会議の際には、ペーパーレス会議とし、ゴミの発生を抑制した。	・ 令和7年度の活動に加えて、 ① 「スマeat」と呼ばれる事業を全国展開していきます。 食事をする際の「いただきます」「ごちそうさま」を徹底すること、食事をスマートに食べ終えることの調整、食べ残しのないように注文の調整、どうしても残った場合の持ち帰りを意識的に行います。 また、食事後のゴミの分別も自分たちで行うようにいたします。 ② 「日常から始めるカーボンニュートラル推進事業」を進めて参ります。 家庭でのCO2削減活動を拡げることで、地域全体のカーボンニュートラル実現に向けて寄与することを目的としております。県民が自ら考え、行動し、発信できる機会を設け、行政・企業・団体とも連携しながら、段階的に活動を拡げていきます。
やまがた女将会	理 事	五十嵐律子	・ 食品ロス削減（食べきり協力）等について呼びかけを行った。 ・ 食品ケース持ち込みで残り物削減。 ① 食品ロス削減対策 ② ごみ分別の徹底 ③ 食べ残し、生ごみの水切り ④ 再資源利用、資源回収への提供 ⑤ 食材在庫の管理の見直し ⑥ ペーパーレス（最低限の紙の使用） ⑦ 食品ロス削減のための料理の見直し、努力 ⑧ 食材仕入れの管理の徹底、努力	令和7年度の取り組みを継続する予定。 カーボンニュートラル、SDGsの意識醸成を押し進めていきます。

所 属	役 職	氏 名	令和7年度の3Rに向けた活動状況	令和8年度の3Rに向けた活動目標
山形県商工会議所連合会	常任理事	石塚 昭宏	<ul style="list-style-type: none"> ・ DXの推進で会議招集時の案内をメールに切り替えたり、会議資料を事前に電子メールで送付して、ペーパーレス化を推し進めた。 ・ 毎月発行する会報の一部を、会員へ電子メールで送付しペーパーレス化を推進した。 ・ 会議の出欠確認をGoogleフォームに切り替えペーパーレスを推進した。 ・ 環境エネルギー問題をテーマにした、絵画コンクールを開催。小学生に対して環境保全の意識付けを行った。参加賞として紙製のクリアファイルを贈呈した。 ・ 懇親会の時には、食べ残しの削減のため3010運動を呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ DXの推進とカーボンニュートラルの意識醸成を推し進めていきます。令和7年度同様に活動を継続していきます。
一般社団法人 山形県建設業協会	会 長	太田 政往	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」に基づき、コンクリート、アスファルト等の特定建設資材の分解解体や再資源化等の促進について、公共事業の発注者と連携し啓蒙活動に取り組んだ。 ・ 建設発生土の適正な処理を推進するため、工事発注時の流用先の設計図書への明示や、運搬・改良処理等に係る費用の計上などについて、公共事業発注者に対し適正な取組みを求める活動を行った。 ・ 協会支部団体の一部では、建設発生土を改良しリサイクルを促進する取組を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、建設リサイクル法に基づく適正な処理を推進する活動を行う。 ・ 引き続き、建設発生土の適正な処理を推進する活動を行う。
山形県環境整備事業 協同組合	副理事長	佐藤 清	<ol style="list-style-type: none"> 1 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減 <ol style="list-style-type: none"> ① 廃棄物の適正処理の推進 ② 廃棄物の不法投棄の防止 2 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減 3 宴会時の食べきり運動（3010運動）の呼びかけ 	<ol style="list-style-type: none"> 1 廃棄物の適正な処理による環境負荷の低減 <ol style="list-style-type: none"> ① 廃棄物の適正処理の推進 ② 廃棄物の不法投棄の防止 2 裏紙の利用とFAX用紙の出力削減 3 宴会時の食べきり運動（3010運動）の呼びかけ 4 災害時体制の構築 山形県との「災害一般廃棄物の収集運搬に係る協定書」に基づき、被災市町村及び関係団体と連携し、災害廃棄物処理体制を構築する。
山形県再生資源商工組合	事務局	庄司 里沙	<ul style="list-style-type: none"> ・ 裏紙利用を推進し使用後は資源物として処理するように徹底。 ・ シュレッダー処理の削減の声掛けを組合員及び組合員の取引先へも行った。 ・ 会議資料のデータ配信を取り入れ可能な限り紙出しを減らした。 ・ 懇親会での3010運動の声掛けにより食べ切りを徹底。 	令和7年度の取組みを継続徹底していく予定。

所 属	役 職	氏 名	令和7年度の3Rに向けた活動状況	令和8年度の3Rに向けた活動目標
山形県JA女性組織協議会	会 長	平 純子	<p>食品ロス削減に向けたフードドライブ活動に取り組み、自宅で余っているまだ食べられるけど捨ててしまう食品等の提供に協力しました。</p> <p>令和7年6月に本協議会の全体会議にて実施したフードドライブ活動では、会員である県内各地のJA女性部から284.5kgの食品等が集まり、フードバンク団体「福わたし」へ寄贈することができました。</p> <p>また、県内の各JA女性部が独自に、それぞれの地元の社会福祉協議会と連携し、フードドライブ活動を実施しております。</p>	<p>引き続き、フードドライブ活動に取り組んでまいります。</p> <p>本協議会全体としての実施のほか、各JA女性部に対し、それぞれの地元の社会福祉協議会と連携した取り組みの実施を呼びかけます。</p> <p>また、会議開催時の弁当や懇親会等の食事について、食品ロス削減（食べきり）を呼びかけます。</p>
公益社団法人 山形県食品衛生協会	会 長	長谷川正芳	<p>食品衛生協会では、食品衛生責任者養成講習会を実施している。</p> <p>食品衛生責任者とは飲食業はじめ食品を扱う事業所に配置が義務付けられており、食中毒や食品衛生法違反を未然に防ぐために管理運営を行う者である。</p> <p>その食品衛生責任者講習会では、食品衛生関係法規、食品衛生学及び公衆衛生学について講義するが、公衆衛生学において、廃棄物処理の項目があり、その中で、廃棄物の管理などとともにごみの減量化についても講義している。</p> <p>ちなみに、令和7年度は27回の開催を計画し、実施している。</p> <p>また、令和6年度は1,465名が受講している。</p>	<p>令和8年度においても、引き続き、食品衛生責任者養成講習会において、ごみの減量化について講義を行っていく。</p> <p>令和8年度の講習会は、令和7年度と同程度の開催を予定している。</p>
山形県商工会女性部 連合会	会 長	原田 周子	<ol style="list-style-type: none"> ① 廃食油の回収と再利用 ② 牛乳パックの回収と再利用 ③ フリーマーケット・バザーの定期的な開催 ④ エコキャップ回収運動 ⑤ マイ箸持参運動 ⑥ アルミ缶・プルタブ回収運動 ⑦ ゴミ袋削減運動 ⑧ 生ゴミ堆肥化運動 ⑨ 食品ロス削減運動 ⑩ その他（普及啓発、環境教育など） <p>（詳細は参考資料1-2、1-3のとおり。）</p>	<p>令和7年度に引き続き、各商工会女性部において継続してエコ活動に取り組んでいく。</p>
山形県工業会	会 長	前田 直之	<p>情報提供事業の一環として、当運動のチラシを適宜会員に周知すると共に、本会事務所に掲示をして、情報発信並びに活動推進を図っている。</p> <p>会員への案内等はメールに切り替え、コピー用紙や封筒の削減に努めている。</p>	<p>引き続き、令和7年度と同様、活動を推進していく。</p>